

Town Gallery



鏡野町成人式(1月7日)

鏡野町成人式が開催され、148人の新成人が門出を祝いました。
式典の前には布原青年会鈍奇郎太鼓のみなさんによるミニコンサートが開かれ、会場には勇壮な太鼓のリズムが響きました。

この日は雪に見舞われましたが、式辞では山崎町長から、「新成人となった純白の君たちの気持ちを映しているようです。20歳を迎えたみなさんは、さまざまな権利が与えられると同時に、多くの責任や義務が課せられます。一人ひとりが輝かしい21世紀の担い手となるよう期待します。」と述べられました。

また、ビデオレターでは中学校時代の担任の先生方からメッセージが披露され、それぞれの担任の先生が映される度に、歓声が起こっていました。

式典終了後には記念撮影が行われ、会場では引き続き同窓談話会が開かれ、久しぶりの再開を果たした同級生との時間を楽しんでいました。



第15回初日の出を 迎える会(1月1日)

馬場の小田草城址で、「塚谷・馬場の『明日を考える会』」主催の、第15回初日の出を迎える会が開催されました。

天候にも恵まれ、冬らしい冷たく澄んだ空気の中、約80名の参加者は、午前7時11分に現れたご来光に向かって、新年への思いを新たにしました。

参加者による万歳三唱の後には、お楽しみ福引き大会が開催され、新年最初の運試しに一喜一憂する参加者の姿が見られました。

最後には記念撮影が行われ、参加者のみなさんが今年1年健康で無事に過ごせるようにと願われました。



恩原高原氷紋まつり(1月20日)

第15回恩原高原氷紋まつりが開催され、県内外から約6000人の来場者が訪れました。

メインステージには、昨年4月にオープンした「上齋原妖精の森ガラス美術館」をイメージした雪像が完成し、会場周辺には地域の特産品が並ぶ屋台村をはじめ、ステージショーやコンサート、鏡野町ソーラン踊りなどが披露され、賑わいを見せていました。

クライマックスには5100発の花火とレーザーライトショーが冬空を飾り、音と光と雪の祭典を盛り上げました。

